

第3回経済常任委員会会議記録

開 閉 会 日 時	平成26年 6月17日(火曜) 15時29分 開会		
	休憩 15:55-15:56		
	16時18分 閉会		
会議場所	役場3階 第1委員会室		
出席委員 氏 名	委員長 常通 直人	委 員 正村紀美子	議長 広瀬 重雄(遅参)
	副委員長 齋藤 幸子		
	委 員 小椋 孝雄		
	委 員 柴田 正博		
欠席委員 氏 名			
会議に出席 した説明員			
事務局職員		事務局次長 剣持和裕	書記 大石真澄
『会議に付した事件と会議結果など』			
<p>1 開 会 委員長が開会を告げ、事務局から本日の委員会の日程を説明。</p> <p>2 議 件 (1) 審査事項 ア 陳情第23号「規制改革会議意見書の取扱いに関する意見書」の提出を求める陳情について 事務局次長より説明。その後、審査方法について協議。 ・齋藤委員：資料に沿って審査をおこなうことで十分。 → 資料に沿って審査を行うことを決定。</p>			

(2) 調査事項

ア TPP協定交渉から十勝を守り抜く決議について

事務局次長より説明。

- ・柴田委員：「我々は」の部分を「芽室町議会は」に変更すれば、提案の内容で良いのでは。
→ 上記部分を修正し、次回再度内容を確認する。

イ 先進地事務調査報告について

事務局次長より、前回からの変更点を説明後、各委員から自分の作成した報告書の内容について、ポイントを説明後、協議を行う。

- ・正村委員：計画策定にあたり、住民との情報共有は必須。課題を乗り越えるために、議会からも、積極的に住民の理解を得るべき。
- ・小椋委員：管路にたよらない井戸水の活用や、料金収入と施設更新費用のバランスを検討すべき。
- ・柴田委員：現状を正確に把握したうえで、更新計画を策定すること。また財源の確保や人口減少を見据えた料金の見直しが必要。住民との情報共有も必須
- ・齋藤委員：現状のまま更新をすることは難しい。まちづくりを考える上で人口推移を考慮することは必要。住民負担を先送りすることのないよう長期計画の策定が必要。
- ・常通委員長：住民との情報共有が必要。計画策定にあたっては、集中と選択、ダウンサイジング、LCCの低減が必要

→本日の協議をもとに、報告書の総括部分を正副事務局にて作成し、次回委員会で再度検討する。

3 その他

(1) 次回委員会開催日程 平成26年6月18日(水) 協議会終了後

(2) その他

なし

以上をもって、閉会する。

傍聴者数	一般者	0名	報道関係者	0名	合計	0名
記載のとおり報告する。						
平成26年6月17日						
経済常任委員会委員長 常 通 直 人						